

チェア・デスク 「驚異的伸び」

店舗売り上げ大幅ダウン

新型コロナウイルスの感染拡大を受けた緊急事態宣言期間中の4月から5月にかけて、インテリア関連のネット通販（EC）サイトの売れ行きが大幅に伸びている。特にテレワーク需要の拡大とともに在宅勤務に必要なチェア、デスクなどの売り上げがインテリア関連EC市場全体をけん引する形となっている。こうした「巣ごもり消費」の一方、実店舗の売り上げは大幅にダウンしており、6月から8月にかけて影響が深刻化する恐れがある。

間、チェア、デスクが圧倒的に売れたことからテレワーク需要が大幅に拡大していると見ている。

ほか、インテリア・雑貨情報が満載のWEBメディア「アイエコレクション（IECOLLECTION）」も順調に推移しており、今後もECの中で認知度を高めていけるよう、いろいろな取り組みを進めていく。テレワークなどもこれからさらに浸透していく形になれば、家具をはじめ、さまざまな提案をメーカーからいただき、商品に加えていけるのではないかとしている。

前年比69・2%増

家具を中心としたECサイト「リコメン堂」を早くから立ち上げたジェネレーションパス（東京都新宿区）がこのほど発表した今年4月の連結売上高は11億5900万円

で、前年同月比69・2%増という驚異的な伸びを示した。3月も10億300万円（前年同月比29・1%）と伸びていたが、緊急事態宣言を受けて消費者の購買行動が大きく変化したことが見て取れる。

ただ、新型コロナウイルスが製品生産にも悪影響を及ぼし、一部商品は欠品となるケースもあるため、メーカーと密にやりとりをしながら営業を展開しているという。

同社は、この2カ月

同社は「取引先からの新商品の提案や、困り事の相談など、いろいろなところからお声掛けいただいている。リコメン堂を運営するEC事業部の

ジェネレーションパスのECサイト「リコメン堂」